

計画の全体像

本総合計画は、さまざまな市民参画の方法を通じて、市役所を含む多様な主体がともに考えた将来の都市像やまちづくりの目標を共有し、その実現に向けてそれぞれが担う役割をまとめています。

市民参画

阪南みらい会議の提言

《将来の都市像》

ともにさかそう笑顔とお互いさまのまち 阪南

- 安全安心のまち
- 助け合いのまち
- 自然、歴史、産業を活かしたまち
- 官民協働のまち

中学生会議の提言

《キャッチコピー》

- お もいやりとふれあいがあふれる
- も っとにぎやかで
- い つまでも安心して暮らせる
- や まもうみも美しい
- リ ードしていくまち 阪南

住民意識調査

市民説明会

中学生アンケート

パブリックコメント

地区懇談会

総合計画審議会

団体懇談会

第 1 部

I 序論

II 基本構想

平成 24～33 年度
(10 ヶ年計画)

基本目標

計画の推進 にあたって

第 2 部

基本計画

平成 24～28 年度
(前期計画)

平成 29～33 年度
(後期計画)

阪南市総合計画

◆計画策定の意義と目的

◆計画策定の経緯

◆計画の構成と期間

◆阪南市の概況

◆社会情勢の変化および阪南市の課題

将来の都市像

えがお
ともにさかそう笑顔と
たが
お互いさまのまち 阪南
はんなん

将来人口

平成 22 年度 58,065 人

平成 33 年度 54,000 人

土地利用構想

- 土地利用の基本方針
- 土地利用のゾーン設定
- 地域資源を活かした
地域振興構想

おもいやりとふれあいが
あふれる活気のあるまち

健やかに、いきいきと
自立して暮らせるまち

いつまでも安全に、
安心して暮らせるまち

生涯にわたり学び、
地域に還元できるまち

地域資源を活かした、
にぎわいのあるまち

美しい自然と調和し
快適に暮らせるまち

持続可能な発展を支える
行政経営のまち

◆協働によるまちづくり◆

◆行政経営のしくみづくり◆

施策連携の視点

- 子育てふるさと
- にぎわい共創
- 出会い生きがい

協働社会分野

健康・福祉分野

生活環境分野

教育・生涯
学習分野

産業分野

都市基盤分野

行政経営分野

